第 37 講　議会政治の確立と条約改正

1　初期議会

①帝国議会の開設

A　議会の構成

衆議院・貴族院の**二院制**，法律案・予算案に対する**天皇の協賛機関**。

あ　**衆議院**

各道府県の公選議員で構成，**基本的には貴族院と対等（予算の先議権はあり）**。

い　**貴族院**

皇族・華族・勅任（勅撰および多額納税者など）の各議員で構成。

B　**衆議院議員選挙法（1889年，**小選挙区制の**制限選挙）**

あ　**選挙権**

満25歳以上の男子で，直接国税15円以上を納める者。

☆約45万人，全人口4000万人の**1.1%**。

い　被選挙権

満30歳以上の男子で，直接国税15円以上を納める者。

C　**超然主義**演説**（1889年2月12日，黒田清隆首相）**

政府は政党に左右されず，独自の政策を立案・推進するという政治姿勢。

☆憲法発布の翌日，地方長官を鹿鳴館に集めて行った訓示。歴代の藩閥内閣は基本的に超然主義を継承。

D　**第一回総選挙（1890年，第一次山県有朋内閣）**

総議席300をめぐる争いは，**民党が過半数を獲得**し勝利。

☆選挙後に，集会及政社法（1890年）を制定。

あ　**民党**　（旧民権派政党＝171議席）

立憲自由党（130議席），**立憲改進党**（41議席）

い　**吏党**　（政府支持政党＝79議席）

大成会（79議席）

う　その他（政府支持＝50議席）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②初期議会（1890年～94年）

A　藩閥政府と民党の対立

あ　**政府**

“**超然主義**”（1889年，黒田清隆首相），“主権線・利益線”論（1890年，山県有朋（やまがたありとも）首相）にもとづく**軍事費増額要求**。

い　**民党**

“**政費節減**（軍拡予算反対・行政整理）・**民力休養**（地租軽減・地価修正）”を唱え，**予算審議権を武器に政府の予算案を否決・削減**。

B　第一議会（1890年～91年，第一次山県有朋内閣，争点＝予算問題）

政府は黒田清隆内閣の“超然主義”を継承，国家の“**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**”防衛のため軍備拡張を主張。

↓↓↓

総選挙で大勝した民党は“**政費節減・民力休養**”を唱え，予算の削減を要求。

↓↓↓

立憲自由党土佐派の一部28名の裏切りにより双方が妥協，**政府の軍備拡張予算が辛（かろ）うじて成立**。

☆これに憤激した中江兆民（ちょうみん）は，議会は“無血虫（むけつちゅう）の陳列場（ちんれつじょう）”と批判して議員を辞職。

☆立憲自由党は板垣退助を総理に再び**自由党**と改称，統制を強化。

C　第二議会（1891年，第一次松方正義内閣，争点＝予算問題）

政府は今年度も軍備拡張予算案を提出。民党は予算案を否決，軍艦建造費・製鋼所設立費を削減。

↓↓↓

樺山資紀（かばやますけのり）海相（薩摩藩出身）による藩閥政府擁護（ようご）の**蛮勇（ばんゆう）演説**で議会は紛糾（ふんきゅう）。

以後民党は重要議案をことごとく否決。

↓↓↓

政府は議会を解散，第二回総選挙へ突入

D　第二回総選挙（1892年，第一次松方正義内閣）

品川弥二郎（しながわやじろう）内相が大規模な**選挙干渉**を行い，民党候補を弾圧。

↓↓↓

多数の死者・重傷者を出した，**流血の大選挙干渉にもかかわらず民党が勝利**。過半数の163議席を獲得。

☆品川弥二郎内相は引責辞任，西郷従道（つぐみち）らとともに大成会にかわる吏党として**国民協会**を結成。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

E　第三議会（1892年，第一次松方正義内閣，争点＝予算問題）

総選挙に勝利した民党は，選挙干渉を非難するとともに，政府の予算案を再度否決。

↓↓↓

閣内対立・動揺が激しくなった松方内閣は，議会終了後総辞職に追い込まれる。

F　**第四議会（1892年～93年，第二次伊藤博文内閣〔元勲(げんくん)内閣〕，争点＝予算問題）**

政府は今年度も軍備拡張予算案を提出。民党は予算案をまたも否決し，軍艦建造費などを削減。さらに内閣弾劾(だんがい)上奏案を可決し政府を追い込む。

↓↓↓

1893年，政府は明治天皇の**建艦詔書(けんかんしょうしょ)**〔**和衷協同(わちゅうきょうどう)の詔書**〕により**辛うじて軍備拡張予算を成立させる**。

☆**これにより民党は以後軍備予算問題に関しては政府に妥協せざるを得なくなった**。

↓↓↓

自由党と政府との提携が強まり，民党連合は崩壊。

☆背景＝自由党の星亨(ほしとおる)による立憲改進党批判を契機とした両党の対立。

G　**第五議会（1893年，第二次伊藤博文内閣，争点＝条約改正問題）**

立憲改進党・国民協会などが**対外硬(こうは)派連合**〔**硬六派(こうろっぱ)**〕を結成，その勢力は議会の過半数を占める。

↓↓↓

対外硬派連合は，現行条約励行(れいこう)の強硬外交を主張（外国人の内地雑居に反対）。

政府の陸奥宗光(むつむねみつ)外相が展開する条約改正交渉を軟弱と非難。

☆背景＝千島艦(ちしまかん)事件（1892年，イギリスとの海難(かいなん)事故における不当裁判）

↓↓↓

さらに衆議院議長星亨(ほしとおる)・農商務大臣後藤象二郎らの収賄(しゅうわい)問題により議会は紛糾(ふんきゅう)。

↓↓↓

政府は議会を解散，第三回総選挙へ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

H　第六議会（1894年，第二次伊藤博文内閣，争点＝条約改正問題）

条約改正問題は継続。総選挙で過半数を確保した対外硬派連合が，内閣弾劾上奏案を可決。

↓↓↓

政府は再び議会を解散，第四回総選挙となるが，**まもなく日清戦争に突入。**

I　第七議会（1894年，第二次伊藤博文内閣，争点＝なし）

日清戦争開戦のため，各政党は政府批判を一時的に中断。大本営（だいほんえい）が設置された広島で開かれた議会は，戦争関係の予算案・法律案をすべて全会一致（ぜんかいいっち）で可決。

☆以後，立憲改進党も政府への接近を開始。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　条約改正

①改正の目的

A　**最恵国待遇（さいけいこくたいぐう）の相互平等化**　　　（**和親条約**第９条）

B　**治外法権〔領事裁判制度〕の撤廃**（**修好通商条約**第６条）

C　**関税自主権の回復**　　　　　　（**修好通商条約**第４条）

---

②岩倉具視（ともみ）（1871年～73年，右大臣）

A　**目的**

条約改正の予備交渉と欧米諸国の視察

B　経過

1871年　岩倉具視を全権とする遣外使節団を派遣

1873年　帰国後は内治（ないち）優先論を唱え，留守政府の征韓論と対立。

☆明治六年の政変

C　**結果**

条約改正の予備交渉は完全に失敗，欧米視察は一定の成果をあげる。

---

③寺島宗則（てらしまむねのり）（1876年～79年，外務卿（きょう））

A　**目的**

明治前期の財政危機（インフレ・輸入超過）を乗り切るため，**国別交渉による税権の回復をめざす。**

B　経過

1878年，**アメリカとの間で税権回復交渉に成功**。しかし，**イギリス・ドイツの反対**や，ハートレー事件（イギリス商人のアヘン密輸に対するイギリス領事の無罪判決）にともなう国内世論の反発により失敗。

C　**結果**

以後，法権回復の優先が世論となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④井上馨（かおる）　（1882年～87年，外務卿のち外務大臣）

A　**目的**

一括（いっかつ）交渉による法権の回復，税権の一部回復（輸入関税の引き上げ）。

B　経過

1882年～　　東京で計26回にわたる予備会議を開催

1883年　　東京日比谷に**鹿鳴館（ろくめいかん）**を建設（**イギリス人コンドル**が設計）

☆連日の舞踏会（ぶとうかい）・音楽会を中心とした，極端な**欧化主義政策**を推進（＝**鹿鳴館外交・鹿鳴館時代**）。

1886年　５月　東京で計27回にわたる条約改正会議を開催

10月　**ノルマントン号事件**

☆紀伊半島沖における日本人搭乗の**イギリス**貨物船沈没事件。

日本人乗客全員を見殺しにしたイギリス人船長に有利な判決。

☆**法権回復の必要性を痛感**。妥協（だきょう）的な井上案への反対の声が高まる。

民権派，**星亨（ほしとおる）**（のち**後藤象二郎（しょうじろう）**）を中心に**大同団結運動**を開始

1887年　　条約改正の代償として，**①外国人判事の任用②外国人の内地雑居〔内地開放〕③法典の予約（＝欧米同様の法典整備）**を秘密裡（り）に容認。

９月　暴露（ばくろ）された極端な欧化主義政策に対して，政府内外から批判が集中。井上外相は辞任に追い込まれる。

☆**政府内⇒ボアソナード（法律顧問），谷干城（たてき）（農商務大臣）**

☆**政府外⇒民権派・国権派**

10月　民権派，**三大事件建白運動**を開始。

C　**結果**

条約改正会議は無期延期となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤大隈重信　（1888年～89年，外務大臣）

A　**目的**

列国間の対立を利用した，**国別秘密交渉による法権の回復**と税権の一部回復。

B　経過

外国人判事任用を大審院に限ること以外は井上案をほぼ踏襲し，メキシコ・アメリカ・ドイツ・ロシアの同意を得る。

↓↓↓

秘密のはずの大隈案が，イギリスの「**ロンドン＝タイムズ**」紙に暴露され，世論が沸騰（ふっとう）。民権派・国権派が連合して反対。

☆外国人判事任用は，憲法違反としても問題化（枢密院議長伊藤博文が非難）。

↓↓↓

1889年，憤激した**玄洋社**（頭山満（とうやまみつる）を中心とした九州の超国家主義右翼団体）の来島恒喜（くるしまつねき）が，大隈外相を爆弾で襲撃。

↓↓↓

黒田清隆内閣は総辞職。右足を失う重傷を負った大隈外相ものちに辞任。

C　**結果**

条約改正交渉は再度中止

---

⑥青木周蔵（しゅうぞう）　（1889年～91年，外務大臣）

A　目的

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復。**最恵国待遇の相互平等化。**

B　経過

外国人判事を任用せず，外国人の内治雑居はほぼ認める。

↓↓↓

ロシアの東アジアへの南下（1891年，露仏（ろふつ）同盟締結・**シベリア鉄道**起工）を警戒した**イギリスが，ほぼ同意を示す。**

↓↓↓

大津事件（**1891年**，訪日中の**ロシア皇太子**〔のちのニコライⅡ世〕を警備中の巡査津田三蔵（さんぞう）が暴行）により，**青木周蔵は外相を辞任。**

☆日露関係の悪化を恐れた**第一次松方正義内閣**（西郷従道（つぐみち）内相）は，罪刑（ざいけい）法定（ほうてい）主義を無視して死刑判決を求めたが，**大審院長児島惟謙（こじまいけん）**はこれに反対。大津地裁は無期徒刑（むきとけい）の判決を下し**司法権の独立**は護（まも）られた。

C　**結果**

榎本武揚（えのもとたけあき）が外相となり（1891年～92年），中断された交渉を引き継ぐが，本格化させず。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦陸奥宗光（むつむねみつ）　（1893年～94年，外務大臣）

A　**目的**

法権の回復と税権の一部回復。**最恵国待遇の相互平等化。**

B　経過

青木案を踏襲。駐英・駐独公使となっていた青木周蔵の活躍で，**イギリスの同意**を得る。

☆第五・六議会では**対外硬派連合〔硬六派〕**が，政府の内地雑居案を軟弱外交と非難，現行条約励行（れいこう）を唱える。

C　**結果**

日清戦争開始直前，ロンドンで**日英通商航海条約（1894年，第二次伊藤博文内閣）**を締結し，**法権の完全回復に成功。最恵国待遇の相互平等化も達成**し，他の列国14カ国とも同様の新条約を締結。

☆有効期間12年，５年後の**1899年より発効**（青木周蔵外相）。

☆**代償として外国人の内地雑居を認める。**

---

⑧小村寿太郎（こむらじゅたろう）（1908年～11年，外務大臣）

A　**目的**

税権の完全回復

B　経過

日清・日露戦争の勝利により，日本の国際的地位が上昇。列国の反対が少なくなった状態で，新条約満期を迎える。

↓↓↓

アメリカとの間で**改正日米通商航海条約（1911年，第二次桂太郎内閣）**を締結。以後他の列国とも新条約を締結。

C　**結果**

条約改正が完全に達成され，日本は欧米列強と対等の地位を得る。

---

⑨改正成功の要因

A　近代産業の発達による国力の充実

B　**日清・日露戦争の勝利による国際的地位の向上**

C　**法典の整備**

D　改正事業が国民的要望に支えられていた

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 37 講　確認テスト

1　1889 年，鹿鳴館で超然主義演説を行った首相とは？

①　伊藤博文　②　黒田清隆　③　山県有朋　④　松方正義

2　1890 年，第一回総選挙時の全人口に対する有権者人口比とは？

①　1.1％　②　2.2％　③　5.5％　④　20.8％

3　第一議会時の代表的吏党を一つ選べ。

①　立憲帝政党　②　大成会　③　国民協会　④　中央倶楽部

4　第一次松方正義内閣の第二議会で，藩閥政府擁護の“蛮勇演説”を行った，薩摩藩出身の海軍大臣とは？

①　西郷従道　②　樺山資紀　③　斎藤実　④　加藤友三郎

5　1892 年，第二回総選挙で大規模な選挙干渉を行った，長州藩・松下村塾出身の内務大臣とは？

①　高杉晋作　②　前原一誠　③　山県有朋　④　品川弥二郎

6　第五・第六議会で対外硬派連合〔硬六派〕から“軟弱外交”と非難された，第二次伊藤博文内閣の外相とは？

①　大隈重信　②　青木周蔵　③　榎本武揚　④　陸奥宗光

7　1871 年～ 73 年，横浜を出港した岩倉遣外使節団が最初に訪れた国は？

①　アメリカ　②　イギリス　③　フランス　④　オランダ

8　1870 年代に国別交渉による税権回復をめざした，薩摩藩出身の外務卿とは？

①　大久保利通　②　黒田清隆　③　松方正義　④　寺島宗則

9　日本人搭乗のイギリス貨物船が沈没した，ノルマントン号事件が起きた年は？

① 1884 年　② 1885 年　③ 1886 年　④ 1887 年

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

10　1886 年にスタートした，民権派による大キャンペーンとは？

①大同団結運動　②三大事件建白運動

③第一次護憲運動　④第二次護憲運動

11　1889 年，大隈重信外相を爆弾で襲撃した来島恒喜の所属する右翼団体とは？

①　玄洋社　②　猶存社　③　国本社　④　桜会

12　1891 年に発生した，ロシア皇太子ニコライ暴行事件とは？

①　秩父事件　②　大阪事件　③　大津事件　④　虎の門事件

13　12 のさい，“司法権の独立”を護ったとされる大審院長とは？

①　西郷従道　②　星亨　③　児島惟謙　④　平沼騏一郎

14　イギリスを相手に，最恵国待遇の相互平等化・領事裁判権の撤廃を達成した陸奥宗光外相が著した回顧録とは？

①　『花月草紙』　②　『蹇蹇録』

③　『死線を越えて』　④　『放浪記』

15　アメリカを相手に，小村寿太郎外相が条約改正を完全に達成した年とは？

①　1905 年　②　1908 年　③　1910 年　④　1911 年

解答

1	②	2	①	3	②	4	②	5	④
6	④	7	①	8	④	9	③	10	①
11	①	12	③	13	③	14	②	15	④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。